

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公開番号】特開2007-122442(P2007-122442A)

【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2005-314250(P2005-314250)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 1 0 L 11/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 2 1 0 D

G 0 6 F 17/30 1 7 0 E

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

G 1 0 L 11/00 2 0 1 Z

G 1 0 L 11/00 4 0 2 K

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月13日(2009.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】楽曲分類装置、楽曲分類方法、楽曲分類プログラム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

楽曲データの書誌情報に基づいて書誌情報印象語を生成する手段と、
前記楽曲データの音響特徴量に基づいて音響特徴量印象語を生成する手段と、
所定の統合判定処理を行うことにより、前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語と
のうちから前記楽曲データに割り当てる印象語を決定する手段と、を有し、
割り当てられた前記印象語に基づいて前記楽曲データを分類する、楽曲分類装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の楽曲分類装置において、
前記印象語を決定する手段は、
所定の統合判定処理として、前記書誌情報の 1 つであるジャンル名に基づいて前記楽曲
データが音楽コンテンツであるか、非音楽コンテンツであるかを判定し、前記楽曲データ
が非音楽コンテンツデータであると判定した場合、前記書誌情報印象語のみを前記楽曲デ
ータに割り当てる、楽曲分類装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 記載の楽曲分類装置において、
前記印象語を決定する手段は、
所定の統合判定処理として、前記書誌情報の 1 つであるジャンル名に基づいて前記楽曲
データが音楽コンテンツであるか、非音楽コンテンツであるかを判定し、前記楽曲データ

が音楽コンテンツであると判定した場合、前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語との間の適合度と、所定の適合度閾値とに基づき、前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語との両方あるいはいずれか一方に決定する、楽曲分類装置。

【請求項 4】

請求項 1 記載の楽曲分類装置において、

前記印象語を決定する手段は、

所定の統合判定処理として、前記書誌情報印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いと、前記音響特徴量印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いとを求めると共に加算し、その加算値が最大の前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語との組を、前記楽曲データに割り当てる印象語として決定する、楽曲分類装置。

【請求項 5】

請求項 1 記載の楽曲分類装置において、

前記印象語を決定する手段は、

所定の統合判定処理として、前記書誌情報印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いと、前記音響特徴量印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いとを求め、求めた当てはまり度合いが大きい順に前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語とのうちから前記楽曲データに割り当てる所定数の印象語を決定する、楽曲分類装置。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 請求項 5 いずれかの記載の楽曲分類装置において、

前記印象語を決定する手段は、

所定の統合判定処理として、前記書誌情報印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いと、前記音響特徴量印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いとを求めると共に加算し、その加算値が所定値以上である前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語との組を、前記楽曲データに割り当てる印象語として決定する、楽曲分類装置。

【請求項 7】

楽曲データの書誌情報に基づいて書誌情報印象語を生成するステップと、

前記楽曲データの音響特徴量に基づいて音響特徴量印象語を生成するステップと、

所定の統合判定処理を行うことにより、前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語とのうちから前記楽曲データに割り当てる印象語を決定するステップと、

割り当てられた前記印象語に基づいて前記楽曲データを分類するステップと、

を有する楽曲分類方法。

【請求項 8】

楽曲データの書誌情報に基づいて書誌情報印象語を生成するステップと、

前記楽曲データの音響特徴量に基づいて音響特徴量印象語を生成するステップと、

所定の統合判定処理を行うことにより、前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語とのうちから前記楽曲データに割り当てる印象語を決定するステップと、

割り当てられた前記印象語に基づいて前記楽曲データを分類するステップと、

をコンピュータに実行させるための楽曲分類プログラム。

をコンピュータに実行させるための楽曲分類プログラム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の課題を解決するため、本発明の楽曲分類装置は、楽曲データの書誌情報に基づいて書誌情報印象語を生成する手段と、前記楽曲データの音響特徴量に基づいて音響特徴量印象語を生成する手段と、所定の統合判定処理を行うことにより、前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語とのうちから前記楽曲データに割り当てる印象語を決定する手段と、を有し、割り当てられた前記印象語に基づいて前記楽曲データを分類する、楽曲分類装

置である。

ここで、前記印象語を決定する手段は、所定の統合判定処理として、前記書誌情報の1つであるジャンル名に基づいて前記楽曲データが音楽コンテンツであるか、非音楽コンテンツであるかを判定し、前記楽曲データが非音楽コンテンツデータであると判定した場合、前記書誌情報印象語のみを前記楽曲データに割り当てる、楽曲分類装置でも良い。

また、前記印象語を決定する手段は、所定の統合判定処理として、前記書誌情報の1つであるジャンル名に基づいて前記楽曲データが音楽コンテンツであるか、非音楽コンテンツであるかを判定し、前記楽曲データが音楽コンテンツであると判定した場合、前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語との間の適合度と、所定の適合度閾値とに基づき、前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語との両方あるいはいずれか一方に決定する、楽曲分類装置でも良い。

また、前記印象語を決定する手段は、所定の統合判定処理として、前記書誌情報印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いと、前記音響特徴量印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いとを求めると共に加算し、その加算値が最大の前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語との組を、前記楽曲データに割り当てる印象語として決定する、楽曲分類装置でも良い。

また、前記印象語を決定する手段は、所定の統合判定処理として、前記書誌情報印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いと、前記音響特徴量印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いとを求め、求めた当てはまり度合いが大きい順に前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語とのうちから前記楽曲データに割り当てる所定数の印象語を決定する、楽曲分類装置でも良い。

また、前記印象語を決定する手段は、所定の統合判定処理として、前記書誌情報印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いと、前記音響特徴量印象語に対する前記楽曲データの当てはまり度合いとを求めると共に加算し、その加算値が所定値以上である前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語との組を、前記楽曲データに割り当てる印象語として決定する、楽曲分類装置でも良い。

また、本発明の楽曲分類方法は、楽曲データの書誌情報に基づいて書誌情報印象語を生成するステップと、前記楽曲データの音響特徴量に基づいて音響特徴量印象語を生成するステップと、所定の統合判定処理を行うことにより、前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語とのうちから前記楽曲データに割り当てる印象語を決定するステップと、割り当てられた前記印象語に基づいて前記楽曲データを分類するステップと、を有する楽曲分類方法である。

また、本発明の楽曲分類プログラムは、楽曲データの書誌情報に基づいて書誌情報印象語を生成するステップと、前記楽曲データの音響特徴量に基づいて音響特徴量印象語を生成するステップと、所定の統合判定処理を行うことにより、前記書誌情報印象語と前記音響特徴量印象語とのうちから前記楽曲データに割り当てる印象語を決定するステップと、割り当てられた前記印象語に基づいて前記楽曲データを分類するステップと、をコンピュータに実行させるための楽曲分類プログラムである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

本発明の楽曲分類装置、楽曲分類方法、楽曲分類プログラムによれば、書誌情報に基づく第 1 の印象ベクトルと、音響特徴量に基づく第 2 の印象ベクトルと印象語との組み合わせによって決定させる印象語によって、楽曲の分類を従来よりも、より高い精度で行うことができる。